

大規模方言データの多角的分析

リーダー： 准教授 熊谷康雄

背景： 全国レベルの大規模な方言資料の電子化

『日本言語地図』データベース(LAJDB)

「全国方言談話資料」(DDJD)等の整備

(国立国語研究所において整備)

電子化された大規模な方言データの持つ可能性の
多角的な発掘と研究利用の開拓が必要

共同研究による多角的な研究(共同研究員:10名)
計量的方言研究, 言語地理学, 日本語史, 談話研究など

複数の研究の視点

データの整備・拡張

データの共有・公開

新たな研究方法や知識

ことばの地域差の実態やその形成の解明に関わる新たな知見
研究・利用方法の開発／蓄積, データの整備・共有／公開

→ 方言の研究・教育に貢献